

# 平成23年度予算

## 全会計総額344億6千930万円

### 一般会計は197億7千万円を計上

### 前年度比3.4%<sup>上</sup>、6億5千700万円の増

平成23年度の各会計（一般会計、7特別会計、水道事業会計）の予算の総額は、344億6千930万円。平成22年度の当初予算と比較すると、5億1千170万円の増、前年度比1.5%の増となりました。

内訳は、一般会計が197億7千万円、国民健康保険、学校給食事業、公共下水道事業、簡易水道事業、介護保険、カルルス温泉スキー場事業、後期高齢者医療の7特別会計の合計が132億3千770万円、水道事業会計が14億6千160万円となっています。

なお、老人保健特別会計は法律上の設置義務がなくなつたことから平成22年度で廃止しています。

平成22年度当初予算と比較すると、一般会計が3.4%の増、特別会計が1.2%の減、水道事業会計が0.8%の増となりました。

会計区分	平成23年度当初予算額	平成22年度当初予算額	比較増減	伸び率
一般会計	197億7,000万円	191億1,300万円	6億5,700万円	3.4%
特別会計	132億3,770万円	133億9,520万円	△1億5,750万円	△1.2%
国民健康保険	64億6,590万円	63億6,670万円	9,920万円	1.6%
学校給食事業	3億5,220万円	3億5,520万円	△300万円	△0.8%
公共下水道事業	23億7,290万円	27億2,630万円	△3億5,340万円	△13.0%
老人保健	0円	180万円	△180万円	△100.0%
簡易水道事業	2,590万円	3,270万円	△680万円	△20.8%
介護保険	32億6,540万円	31億7,300万円	9,240万円	2.9%
カルルス温泉スキー場事業	1億1,170万円	1億1,090万円	80万円	0.7%
後期高齢者医療	6億4,370万円	6億2,860万円	1,510万円	2.4%
水道事業会計	14億6,160万円	14億4,940万円	1,220万円	0.8%
収益的支出	9億930万円	9億350万円	580万円	0.6%
資本的支出	5億5,230万円	5億4,590万円	640万円	1.2%
総合計	344億6,930万円	339億5,760万円	5億1,170万円	1.5%

た。現在、市の財政は、市税収入の落ち込みや市債償還の高止まりなどにより大変厳しい

状況にある中、平成23年度の予算は、市民生活の安全・安心を守るための事業や公共施設の延命を図るための事業を重点事業として編成しました。

なお、市内企業の受注に配慮するため国の交付金を活用して、平成23年度や平成24年度以降に計上する予定であった公共施設の改修事業などを前倒して実施することとしたほか、国の補正予算に併せて実施する小・中学校の耐震化事業など合計4億8千万円を平成22年度の補正予算に計上し、これを平成23年度に繰り越して執行することとしました。

### 『緊急雇用創出推進事業』を計上

厳しい経済・雇用情勢を受け、市は失業中の方などの雇用創出を図るため、国が進める緊急雇用創出事業として、災害時に1人で避難することが困難な高齢者や障がい者に対し、避難などの支援を行うためのプランの作成や制度周知を行う事業、市内の小中学校に英語補助支援員を配置する事業など10事業に総額6千421万円を計上しました。

本事業では、市の臨時職員

事業名	雇用人数×日数	予算額	事業名	雇用人数×日数	予算額
災害時要援護者避難支援事業費	4人×122日	418万3千円	商店街活性化事業費	2人×244日	564万2千円
廃棄物適正処理推進事業費	2人×122日	168万3千円	登別温泉コンシェルジュサービス・アンテナショップ運営事業費	5人×266日	2,043万2千円
生活排水処理基本計画策定事業費	2人×112日	154万5千円	連泊・滞在型等観光推進事業費	1人×288日	500万5千円
子どもの外国語を育む活動推進事業費	4人×122日	396万1千円	公共施設内設置遊具等塗装事業費	10人×45日	978万円
市民が記憶する歴史収集事業費	4人×96日	375万9千円			
未就職卒業者就労支援（ワークシェアリング）事業費	10人×122日	821万5千円			

を26人、民間委託で18人の合計44人を雇用する予定としています。